

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月09日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	331	児童遊園等維持管理事業							
	この事務事業 の位置		政策	自然環境を守り未来へつなぐまち								
			施策	緑を守り育て、まちを美しくしよう								
			基本事業	緑のまちづくり								
	主管課名		公園緑地課			課長名	石川 重之					
	この事務事業の開始時期		平成11(1999)年度		事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		みよし市地区公共施設修繕事業補助金交付要綱									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	地元行政区が管理している児童遊園10施設・児童遊園地24施設の不良箇所の修理修繕を行い、施設を利用する児童の安全を図る。 みよし市地区公共施設修繕等事業補助金交付要綱 補助率 事業費10千円までは地元負担 事業費10千円を超える部分の10分の9を補助 補助限度額 5,000千円 「SDGsの取り組み:3、17」					児童遊園等施設の老朽化及び劣化による破損が増加するため、緊急的な修繕が必要となる。						
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		①児童遊園・児童遊園地賠償責任保険加入、②児童遊園・児童遊園地遊具点検業務委託、③児童遊園・児童遊園地管理業務、④児童遊園・児童遊園地緊急修繕補助金交付等を行った。									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1)活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	児童遊園等施設の老朽化が進み、修繕箇所が増大している。				名称		単位					
					① 児童遊園・児童遊園地数		箇所					
					②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 点検により不良と認められた遊具					(2)対象指標（対象の大きさを表す指標）							
					名称		単位					
					① 点検により不良と認められた遊具数		箇所					
					② 修繕件数		箇所					
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 適正な維持管理を行い、安全な公園施設を利用者に提供する					(3)成果指標（目的の達成度を示す指標）							
					名称		単位					
					① 修繕箇所数/点検後不良箇所数		%					
					② 事故件数		件					
結果(上位基本事業の意図) 安全に利用できるよう公園緑地を管理する					(4)結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
					名称		単位					
					① 児童遊園・児童遊園地の維持管理面積		ha					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 箇所	34	34	34	34	34	34	34			
		②										
(2)の 対象指標		① 箇所	1	1	5	1	1	1	1			
		② 箇所	1	1	4	1	1	1	1			
(3)の 成果指標		① %	100	100	80	100	100	100	100			
		② 件	0	0	0	0	0	0	0			
(4)の結果の 成果指標		① ha	2.15	2.15	2.15	2.15	2.15	2.15	2.15			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	02	目	04
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	14,555	15,592	13,578	13,767	9,319	9,620	9,620			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	14,555	15,592	13,578	13,767	9,319	9,620	9,620			
人件費B		千円	1,642.6	1,642.6	1,655.6	1,655.6	1,655.6	1,655.6	1,655.6			
正職員従事時間×人数		時間×人	108×4	108×4	108×4	108×4	108×4	108×4	108×4			
正職員以外の人件費		千円	122	122	135	135	135	135	135			
その他の費用C		千円	30	30	75	75	75	75	75			
トータルコストA+B+C		千円	16,227.6	17,264.6	15,308.6	15,497.6	11,049.6	11,350.6	11,350.6			
単位あたりコスト		① 千円/箇所	16,227.6	17,264.6	3,061.7	15,497.6	11,049.6	11,350.6	11,350.6			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/箇所	16,227.6	17,264.6	3,827.2	15,497.6	11,049.6	11,350.6	11,350.6			

様式1-2

事務事業名		No.	331	児童遊園等維持管理事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	児童遊園・児童遊園地施設であり、公共性が高い施設であるため	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	児童遊園・児童遊園地施設であり、公共性が高い施設であるため	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	児童遊園・児童遊園地施設であり、公共性が高い施設であるため	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	現在の維持管理方法により事故が発生していないため、この事業を継続する。		
		目的達成状況	内 容	現在の維持管理方法により事故が発生していない		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 地元行政区が管理している児童遊園10施設・児童遊園地24施設の不良箇所の修理修繕を行い、補助金を交付する。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	事務の効率性を鑑みると、統合は適さない。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内 容	事業内容を鑑みると、削減は難しい。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☐ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☒ 受益者がいない	内 容	直接的な受益者はなし	
	3 改革 改善 案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	施設の老朽化		対応策
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	賠償責任保険加入、遊具点検、施設管理、補助金交付		変 更 追 加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 児童遊園等公園施設の老朽化が進み、修理修繕の必要箇所が増加するため、計画的な修理修繕も今後検討しなければならない。			
コストの方向性			↓ 減少			
成果の方向性			→ 維持			

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月09日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	332	農村公園維持管理事業							
	この事務事業 の位置		政策	自然環境を守り未来へつなぐまち								
			施策	緑を守り育て、まちを美しくしよう								
			基本事業	緑のまちづくり								
	主管課名		公園緑地課			課長名	石川 重之					
	この事務事業の開始時期		平成14(2002)年度		事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		みよし市地区公共施設修繕事業補助金交付要綱									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	公園緑地施設の適正な維持を行い、公園利用者の安全を確保する。また、公園緑地内の樹木の適正な維持管理を行い、都市景観の向上及び緑豊かな自然環境の保全を図る。 「SDGsの取り組み：3，17」					農村公園施設の老朽化及び劣化による破損が増加するため、緊急的な修繕が必要となる。						
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		①農村公園等賠償責任保険加入、②農村公園遊具点検業務、③農村公園維持管理業務、④農村公園緊急修繕事業補助金交付等を行った。									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1)活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	農村公園施設の老朽化が進み、修繕の必要箇所が増大している。				名称		単位					
					① 農村公園数		箇所					
					②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 点検により不良と認められた遊具					(2)対象指標（対象の大きさを表す指標）							
					名称		単位					
					① 点検により不良と認められた遊具数		箇所					
					② 修繕箇所数		箇所					
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 適正な維持管理を行い、安全な公園施設を利用者に提供する					(3)成果指標（目的の達成度を示す指標）							
					名称		単位					
					① 修繕箇所数/点検後不良箇所数		%					
					② 事故件数		件					
結果(上位基本事業の意図) 安全に利用できるよう公園緑地を管理する					(4)結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
					名称		単位					
					① 農村公園における維持管理面積		ha					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込み及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 箇所	4	4	4	4	4	4	4			
		②										
(2)の 対象指標		① 箇所	0	1	0	1	1	1	1			
		② 箇所	0	1	0	1	1	1	1			
(3)の 成果指標		① %	100	100	100	100	100	100	100			
		② 件	0	0	0	0	0	0	0			
(4)の結果の 成果指標		① ha	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	06	項	01	目	07
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	1,052	759	637	670	710	710	710			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	1,052	759	637	670	710	710	710			
人件費B		千円	1,088.8	1,088.8	1,095.8	1,095.8	1,095.8	1,095.8	1,095.8			
正職員従事時間×人数		時間×人	73×4	73×4	73×4	73×4	73×4	73×4	73×4			
正職員以外の人件費		千円	61	61	68	68	68	68	68			
その他の費用C		千円	20	20	43	43	43	43	43			
トータルコストA+B+C		千円	2,160.8	1,867.8	1,775.8	1,808.8	1,848.8	1,848.8	1,848.8			
単位あたりコスト		① 千円/箇所	0	1,867.8	0	1,808.8	1,848.8	1,848.8	1,848.8			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/箇所	0	1,867.8	0	1,808.8	1,848.8	1,848.8	1,848.8			

事務事業名		No.	332	農村公園維持管理事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	農村公園施設であり、公共性が高い施設であるため。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありますか？	☐ ある ☒ ない	その理由	農村公園施設であり、公共性が高い施設であるため。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありますか？	☐ ある ☒ ない	その理由	農村公園施設であり、公共性が高い施設であるため。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	現在の維持管理方法により事故が発生していないため、この事業を継続する。		
		目的達成状況	内 容	現在の維持管理方法により事故が発生していない		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 地元行政区が管理している農村公園の不良個所の修理修繕を行い、補助金を交付する。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	事務の効率性を鑑みると、統合は適さない。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容	事業内容を鑑みると、削減は難しい。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☐ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☒ 受益者がいない	内 容	直接的な受益者はなし	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	施設の老朽化		対応策
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	賠償責任保険加入、遊具点検、施設管理、補助金交付		変 更 追 加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 農村公園施設の老朽化が進み、修理修繕の必要箇所が増加するため、計画的な修理修繕も今後検討しなければならない。			
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月17日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	248	緑と花の推進委員会補助事業												
	この事務事業 の位置		政策	自然環境を守り未来へつなぐまち													
			施策	緑を守り育て、まちを美しくしよう													
			基本事業	緑のまちづくり													
	主管課名		産業振興課			課長名	岩下 幸江										
	この事務事業の開始時期		平成 8 (1996) 年度		事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務											
	この事務事業の根拠法令		みよし市緑と花の推進委員会規約														
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由												
	自然環境の保全、緑の愛護、環境美化の推進を図り、 緑と花の豊かな郷土の建設に寄与することを目的とし た団体に補助。 「SDGsの取り組み：3, 6, 11, 15」				①地区公共施設緑花推進事業 ②道路等景観・環境美化推進事業 ③さくらの園区域内の桜の木の維持管理事業 ④啓発運動事業 ⑤講習会及び研修会開催 以上の、各事業を実施。 住民の緑化に対する意識が高まる今日、うるおいのあ るまちづくりを目指す意味でも、今後も継続が必要な 事業である。												
	R5年度に実施した具体的な 事業の方法、手順、指標に対す る成果等		学識研究者、市内の各種団体の代表者、緑化推進に理解のある者で組織する「緑と花の推進委員会」に対し活動費の補助金として、3, 182千円の補助金を交付した。														
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）												
変 化 内 容	特に変化はしていない。				<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>緑と花の推進委員会委員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				名称		単位	①	緑と花の推進委員会委員数	人	②		
	名称		単位														
	①	緑と花の推進委員会委員数	人														
②																	
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）												
市民					<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				名称		単位	①	人口	人	②		
名称		単位															
①	人口	人															
②																	
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）												
公共施設を緑や花で被うことにより市民の緑化意識の向上を図る。					<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>活用者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				名称		単位	①	活用者数	人	②		
名称		単位															
①	活用者数	人															
②																	
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）												
緑豊かな街並景観をつくる。					<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>公共施設などの花苗植栽本数</td> <td>本</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				名称		単位	①	公共施設などの花苗植栽本数	本	②		
名称		単位															
①	公共施設などの花苗植栽本数	本															
②																	
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標																	
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値								
(1)の 活動指標		① 人	29	29	28	28	28	28	28								
		②															
(2)の 対象指標		① 人	61,218	61,375	61,375	61,380	61,938	62,219	62,500								
		②															
(3)の 成果指標		① 人	61,218	61,375	61,375	61,380	61,938	62,219	62,500								
		②															
(4)の結果の 成果指標		① 本	18,300	20,000	17,800	20,000	20,000	20,000	20,000								
		②															
予算費目		会計	01 一般会計				款	06	項	02	目	01					
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値								
事業費(決算又は予算額) A		単位	3,116	3,300	3,182	3,300	3,300	3,300	3,300								
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	一般財源	千円	3,116	3,300	3,182	3,300	3,300	3,300	3,300								
人件費B		千円	1,767.5	1,754.4	1,823.2	1,823.2	1,823.2	1,823.2	1,823.2								
正職員従事時間×人数		時間×人	56×4	55×4	52×4	52×4	52×4	52×4	52×4								
正職員以外の人件費		千円	979	980	1,091	1,091	1,091	1,091	1,091								
その他の費用C		千円	0	0	0	0	0	0	0								
トータルコストA+B+C		千円	4,883.5	5,054.4	5,005.2	5,123.2	5,123.2	5,123.2	5,123.2								
単位あたりコスト		① 千円/人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1								
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0								

様式1-2

事務事業名		No.	248		緑と花の推進委員会補助事業	
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない		理 由	毎年、花づくり推進員を中心に公共施設を緑で覆っていただくことで、市民の緑化意識が向上し、緑の募金の増収が見込まれている。
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない		その理由	緑の募金の市民への還元として行っている事業であり、対象を見直すことはない。
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない		その理由	対象と同じく、目的を見直すことはない。
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容		毎年の募金収入によって総事業費が左右されるため、募金収入を向上させることによって、事業の成果も向上させることができる。	
		目的達成状況	内 容		十分に達成できている。	
		市関与の必要性 (実施手法)	内 容		☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 みよし市緑花推進事業補助金	
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容		補助事業の性質上、統廃合できる事業がない。	
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内 容		現状では見当たらない。	
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☒ 現状で適正 ☒ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない		内 容	募金による運営のため、受益者負担にはそぐわない。
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	特になし		対応策
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	緑と花の推進委員の活動費を補助し、市内緑化に努めた。		変 更 ・ 追 加	継続して事業を進めていく。
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 自然環境保護、緑の愛護、環境緑化の推進を図っていく。地域の緑化活動を行う推進員へ物資の配布や講習等で活動の支援を続けていく。			
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月17日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	249	花苗配布事業							
	この事務事業 の位置		政策	自然環境を守り未来へつなぐまち								
			施策	緑を守り育て、まちを美しくしよう								
			基本事業	緑のまちづくり								
	主管課名		産業振興課			課長名	岩下 幸江					
	この事務事業の開始時期		平成2(1990)年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		特に無し									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	住民の緑化に対する意識が高まる今日、うるおいのあるまちづくりを目指す意味において、花苗を1世帯当たり1鉢、配布する。 「SDGsの取り組み：11, 15」					花苗の配布については、各行政区で実施されるイベントの開催にあわせて配布。 「緑と花のあふれるまちづくり」を目的に各家庭での緑化推進を図る必要がある。						
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		各行政区で開催されるイベント等に合わせて花苗を配布した。当該花苗の育成及び配布をシルバー人材センターに委託した。									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	人口の増加に伴い、配布世帯数も増加している。新型コロナウイルス感染症対策のため、イベントを中止し、配布をやめた行政区があった。				名称		単位					
					① 配布した花苗数		苗					
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 市民					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
					名称		単位					
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) より多くの家庭で花苗を育ててもらう。					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
					名称		単位					
結果(上位基本事業の意図) 緑豊かな街並景観をつくる。					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
					名称		単位					
事務事業の各種指標の実績と見込み及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 苗	25,000	25,200	25,200	24,000	24,730	26,000	26,000			
		②										
(2)の 対象指標		① 人	61,218	61,375	61,375	61,380	61,938	62,219	62,500			
		②										
(3)の 成果指標		① %	92	100	96	100	100	100	100			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① 本	18,300	20,000	17,800	20,000	20,000	20,000	20,000			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	06	項	02	目	01
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	2,328	2,381	2,320	2,357	2,306	2,310	2,310			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	2,328	2,381	2,320	2,357	2,306	2,310	2,310			
人件費B		千円	1,196.6	1,153.4	1,186.4	1,186.4	1,186.4	1,186.4	1,186.4			
正職員従事時間×人数		時間×人	70×4	67×4	67×4	67×4	67×4	67×4	67×4			
正職員以外の人件費		千円	211	210	243	243	243	243	243			
その他の費用C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	3,524.6	3,534.4	3,506.4	3,543.4	3,492.4	3,496.4	3,496.4			
単位あたりコスト		① 千円/人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

様式1-2

事務事業名		No.	249	花苗配布事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	1世帯に1苗配布することにより緑化意識の向上に寄与している。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	市民の緑化意識の向上が前提のため、対象は変更しない。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	対象と同じく、目標は変更しない。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	市内全世帯に配布予定のため事業の成果はあるが、配布を中止した行政区があった。		
		目的達成状況	内 容	市内全世帯分の花苗が配布できている。		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 シルバー人材センターの雇用にも寄与している。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	行政区を通して配布している事業があり、協働推進課の事業との統合できる可能性はある。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容	市内全世帯が対象である以上、数量は減らせない。現在のシルバーによる栽培委託は花苗を買いつけるより、かなり費用も抑えられている。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☒ 現状で適正 ☒ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない	内 容	意識向上のための配布で受益者負担を求めることはできない。	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	特になし		対応策
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	市内全世帯へ花苗を配布する。		変 更 追 加	世帯数の増減によって配布数も増減する。
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 平成2(1990)年より本事業を開始したが、事業開始後30年以上が経過し市民の緑化、環境美化に対する意識は向上しているため当初の目的は達成したと思われる。			
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年06月26日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	250	記念樹配布事業							
	この事務事業 の位置		政策		自然環境を守り未来へつなぐまち							
			施策		緑を守り育て、まちを美しくしよう							
			基本事業		緑のまちづくり							
	主管課名		産業振興課			課長名	岩下 幸江					
	この事務事業の開始時期		昭和48(1973)年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		特に無し									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	市民が、緑に感謝し、緑を慈しみ、緑に親しみ、もって緑化意識の高揚を図ることを目的とし、人生の節目に夢や希望、願いを込め、緑化木等を記念樹として配布する。 ①新築 ②出生 ③小学校入学 樹種：ヤマボウシ・ジュンベリー等 「SDGsの取り組み：11, 15」					「緑と花のあふれるまちづくり」を目的に各家庭での緑化推進を図る。						
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		ヤマボウシ30本、ジュンベリー30本、西洋ニンジンボク30本、オタフクナンテン30本、ヒメシャリンバイ40本、アジサイ40本、小学校入学（アジサイ）650本、計850本の樹木を記念樹として配布のため準備した。									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	例年、記念樹配布の対象者は一定数いるが、新築・出生については受け取りに来る人数が少なくなっている。				名称			単位				
					① 記念樹受取者数			人				
					②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 新築、出生、小学校入学者					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
					名称			単位				
					① 記念樹配布対象者			人				
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) より多くの対象者に記念樹を植えてもらい、緑豊かな市にする。					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
					名称			単位				
					① 記念樹受取者数／記念樹配布対象者			%				
					②							
結果(上位基本事業の意図) 緑豊かな街並景観をつくる。					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
					名称			単位				
					① 公共施設などの花苗植栽本数			本				
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の活動指標		① 人	763	824	784	780	780	780	780			
		②										
(2)の対象指標		① 人	1,458	1,420	1,382	1,370	1,370	1,370	1,370			
		②										
(3)の成果指標		① %	52	58	58	58	58	58	58			
		②										
(4)の結果の成果指標		① 本	18,300	18,300	17,800	17,800	17,800	17,800	17,800			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	06	項	02	目	01
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	646	775	610	729	729	729	729			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	646	775	610	729	729	729	729			
人件費B		千円	943.2	914	704	704	704	704	704			
正職員従事時間×人数		時間×人	52×4	50×4	50×4	50×4	50×4	50×4	50×4			
正職員以外の人件費		千円	211	210	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	1,589.2	1,689	1,314	1,433	1,433	1,433	1,433			
単位あたりコスト		① 千円/人	1.1	1.2	1	1	1	1	1			
(トータルコスト/ (2) の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名		No.	250	記念樹配布事業	
-------	--	-----	-----	---------	--

2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	年々記念樹を受け取る方は少なくなっているが、記念樹を楽しみにしている人は一定数存在している。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☒ ある ☐ ない	その理由	社会情勢に合わせて配布樹種や対象者を見直している。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	緑化推進という目的は変わらない。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	鉢植の花も選択肢に加えると、受取者の増加につながる。		
		目的達成状況	内 容	概ね達成できている。		
		市関与の必要性 (実施手法)	内 容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 配布する委託費等に比べれば、緑と花のセンターでの引き換えの方が妥当と思われる。		
	効率性	事務事業の統合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	記念樹を配布するという内容で統合できる事業がない。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容	現状では見当たらない。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☒ 現状で適正 ☒ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない	内 容	記念品の配布という側面がある以上、受益者負担はそぐわない。	

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	賃貸住宅への居住者の増加や、新築しても樹木を植栽するスペースが無いなど、配布対象者が減少している。	対応策	住宅事情を考慮した記念樹の種類を検討する。
	R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	出生及び新築の対象者へ記念樹を配布する。	変 更 ・ 追 加	樹種の選択制の追加。
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案	
	☐ 拡大 ☒ 改善 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 社会情勢や、各家庭の事情を考慮し、記念樹の樹種の配慮や配布方法（園芸店等での引換券方式等）の検討をする。	
コストの方向性			→ 維持		
成果の方向性			→ 維持		

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月09日

1 事務事業 の現状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	333	森林病虫害防除事業							
	この事務事業 の位置		政策		自然環境を守り未来へつなぐまち							
			施策		緑を守り育て、まちを美しくしよう							
			基本事業		緑のまちづくり							
	主管課名		公園緑地課			課長名	石川 重之					
	この事務事業の開始時期		平成19(2007)年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		なし									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	公共施設敷地内の松くい虫等の被害にあった樹木を早期に伐倒処分し、被害拡大を防止して森林の保全を図る。 「SDGsの取り組み：15」					松枯れ等防止対策としては、薬剤散布による防除が廃止されたため、被害が発生した場合は、被害を受けた部分の樹木伐倒処理が現在のところ最良の方策である。						
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		公共施設敷地内で松くい虫等の被害が発生した樹木を伐倒処分し、被害拡大を防止して森林保全に努めた。									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	農薬散布での防除ができなくなった。				名称		単位					
					① 公共施設敷地内の松くい虫等被害伐倒数	本						
					②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 公共施設敷地内の松くい虫等被害木					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
					名称		単位					
					① 松くい虫等被害樹木本数	本						
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 松くい虫等による被害樹木を早期に伐倒し、他の樹木への被害拡大を防止する					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
					名称		単位					
					① 松くい虫等被害伐倒数/松くい虫等被害数	%						
					②							
結果(上位基本事業の意図) 市内に残る貴重な里山を保全し活用する					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
					名称		単位					
					① 鎮守の森の保全面積	ha						
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込み及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 本	42	42	13	42	42	42	42			
		②										
(2)の 対象指標		① 本	42	42	13	42	42	42	42			
		②										
(3)の 成果指標		① %	100	100	100	100	100	100	100			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① ha	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	06	項	02	目	01
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	5,868	5,500	5,495	5,500	5,500	5,500	5,500			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	5,868	5,500	5,495	5,500	5,500	5,500	5,500			
人件費B		千円	1,484	1,484	1,509	1,509	1,509	1,509	1,509			
正職員従事時間×人数		時間×人	88×4	88×4	88×4	88×4	88×4	88×4	88×4			
正職員以外の人件費		千円	245	245	270	270	270	270	270			
その他の費用C		千円	20	20	54	54	54	54	54			
トータルコストA+B+C		千円	7,372	7,004	7,058	7,063	7,063	7,063	7,063			
単位あたりコスト		① 千円/本	175.5	166.8	542.9	168.2	168.2	168.2	168.2			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名		No.	333	森林病虫害防除事業	
-------	--	-----	-----	-----------	--

2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	松くい虫等の被害拡大を防止し、市内に残る緑豊かな自然を保全するため。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	松くい虫等の被害拡大を防止し、市内に残る緑豊かな自然を保全するため。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	松くい虫等の被害拡大を防止し、市内に残る緑豊かな自然を保全するため。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	予防方法が確立されていないため、現在の方法で実施する。		
		目的達成状況	内 容	松くい虫等の被害拡大を防止し、市内に残る緑豊かな自然を保全している。		
		市関与の必要性 (実施手法)	内 容	☐ 民間への一部委託 ☒ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 公共施設敷地内で松くい虫等の被害が発生した樹木を伐倒処分し、被害拡大を防止して森林保全に努める。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	事務の効率性を鑑みると、統合は適さない。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容	事業内容を鑑みると、削減は難しい。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☐ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☒ 受益者がいない	内 容	直接的な受益者はなし	

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	枯木倒木による人的被害、他の財産への影響	対応策	定期的な巡回調査により、早期発見し、倒木前に撤去する。
	R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	松くい虫等被害樹木を伐倒処分し、被害拡大防止	変 更 追 加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案	
	☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 今後とも巡回調査により病虫害被害を早期に発見し、早期に駆除することにより森林の保全に努める。	
コストの方向性			→ 維持		
成果の方向性			→ 維持		

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年12月06日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	334	緑化指定地区保全事業							
	この事務事業 の位置		政策		自然環境を守り未来へつなぐまち							
			施策		緑を守り育て、まちを美しくしよう							
			基本事業		緑のまちづくり							
	主管課名		公園緑地課			課長名	石川 重之					
	この事務事業の開始時期		昭和53(1978)年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市緑化指定地区保全活動報償金基準									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	各行政区に存在する里山や鎮守の森の保全を目的に、行政区主催による樹木保全活動を支援する。 要綱改正により報償金を改正した。 緑化指定面積×25円/㎡ 「SDGsの取り組み：15」					緑豊かな自然環境を保全するために、この事業は必要である。						
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		緑化指定地区保全活動計画書を受付し、保全活動完了後、緑化指定地区保全活動実績報告書に基づき現地確認を行い報償金を交付した。									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	農薬を使用した防除ができなくなってきた。				名称		単位					
					① 緑化指定地域樹木保全活動実施面積	㎡						
					②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 市緑化指定地域の樹林地					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
					名称		単位					
					① 緑化指定地域面積	㎡						
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 緑化指定地域の樹林地を適正に管理してもらう					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
					名称		単位					
					① 地域樹木保全活動実施面積/地域面積	%						
					②							
結果(上位基本事業の意図) 市内に残る貴重な里山を保全し活用する					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
					名称		単位					
					① 鎮守の森の保全面積	ha						
					② 保全組織数	数						
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標		① ㎡	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000			
		②										
(2)の 対象指標		① ㎡	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000			
		②										
(3)の 成果指標		① %	100	100	100	100	100	100	100			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① ha	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9			
		② 数	12	12	12	12	12	12	12			
予算費目		会計	01 一般会計				款	06	項	02	目	01
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	1,225	1,225	1,225	1,225	1,225	1,225	1,225			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	1,225	1,225	1,225	1,225	1,225	1,225	1,225			
人件費B		千円	446.4	446.4	449.4	449.4	449.4	449.4	449.4			
正職員従事時間×人数		時間×人	30×4	30×4	30×4	30×4	30×4	30×4	30×4			
正職員以外の人件費		千円	24	24	27	27	27	27	27			
その他の費用C		千円	20	20	22	22	22	22	22			
トータルコストA+B+C		千円	1,691.4	1,691.4	1,696.4	1,696.4	1,696.4	1,696.4	1,696.4			
単位あたりコスト (トータルコスト/(2)の対象指標)		① 千円/㎡	0	0	0	0	0	0	0			
		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名		No.	334	緑化指定地区保全事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	良好な自然環境を保全するため。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	良好な自然環境を保全するため。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	良好な自然環境を保全するため。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	成果は達成されているため、維持する。		
		目的達成状況	内 容	良好な自然環境を保全している。		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 各行政区に存在する里山や鎮守の森の保全を目的に、行政区主催による樹木保全活動を報償金により支援する。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	事務の効率性を鑑みると、統合は適さない。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容	事業内容を鑑みると、削減は難しい。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☐ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☒ 受益者がいない	内 容	直接的な受益者はなし	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	鎮守の森等の適正な維持管理	対応策	行政区の活動と市の支援
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	活動実績確認、報償金交付	変 更 追 加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。	
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 市の自然環境の保全を図るためには、各行政区に存在する里山や鎮守の森の保全が必要となるため、今後も本事業を継続し、緑地保全に努めたい。			
コストの方向性						
→ 維持						
成果の方向性						
→ 維持						

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月20日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	253	自然林保全事業							
	この事務事業 の位置		政策		自然環境を守り未来へつなぐまち							
			施策		緑を守り育て、まちを美しくしよう							
			基本事業		緑のまちづくり							
	主管課名		産業振興課			課長名	水野 貴行					
	この事務事業の開始時期		昭和26(1951)年			事務区分	☒ 法定受託事務 ☐ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		森林法									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	県が作成する地域森林計画の対象となる民有林（地域対象民有林）について、森林法に基づく届出の確認、県への協議その他法令に基づく事務手続きを適正に行い、みよし市森林整備計画による地域対象民有林の整備、保全等を行う。 「SDGsの取り組み：15」					森林法に基づく地域対象民有林や保安林の適正な保全管理を行う。						
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		森林法に基づく届け出の確認、県への通知									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	現在事業途中のため現状のまま継続して実施				名称		単位					
					① 伐採、造林の届出件数	件						
					②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 地域対象民有林					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
					名称		単位					
					① 地域対象民有林の面積	ha						
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 伐採、伐採後の造林の状況把握による地域対象民有林の保全					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
					名称		単位					
					① 伐採届出面積	ha						
					② 造林届出面積	ha						
結果(上位基本事業の意図) 市内に残る貴重な里山を保全し活用					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
					名称		単位					
					① 森林面積	ha						
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の活動指標		① 件	0	1	0	1	1	1	1			
		②										
(2)の対象指標		① ha	144	144	144	144	144	144	144			
		②										
(3)の成果指標		① ha	0	0.13	0	0.13	0.13	0.13	0.13			
		② ha	0	0.13	0	0.13	0.13	0.13	0.13			
(4)の結果の成果指標		① ha	148	148	148	148	148	148	148			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	06	項	02	目	02
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	105	10	10	10	10	10	10			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	105	10	10	10	10	10	10			
人件費B		千円	352	211.2	176	211.2	211.2	211.2	211.2			
正職員従事時間×人数		時間×人	50 × 2	30 × 2	25 × 2	30 × 2	30 × 2	30 × 2	30 × 2			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	457	221.2	186	221.2	221.2	221.2	221.2			
単位あたりコスト		① 千円/ha	3.2	1.5	1.3	1.5	1.5	1.5	1.5			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名		No.	253	自然林保全事業			
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？		☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	みよし市森林整備計画による地域対象民有林の保全を行う。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありますか？		☐ ある ☒ ない	その理由	県の地域森林計画の地域対象民有林が対象であり、見直すことは出来ない。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありますか？		☐ ある ☒ ない	その理由	県の地域森林計画の地域対象民有林の保全が目的であり、見直すことは出来ない。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？		内 容	森林法に基づく届出制度の周知徹底。		
		目的達成状況		内 容	森林法に基づく届出の確認及び県への通知をした。		
		市関与の必要性（実施手法）		内 容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 県への負担金。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。		内 容	統廃合できる事業は無い。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）		内 容	現状より、事業費・人件費の削減は出来ない。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？		☐ ある ☐ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☒ 受益者がいない	内 容	直接的な受益者はなし	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策		意 見	森林の占める面積割合が小さく、森林業に携わる者が少ない状況で、森林保全が適正な管理。		対応策
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	森林法に基づく届け出の確認、県への通知。		変 更 ・ 追 加	変更・追加なし。	
今後の事業・コスト・成果の方向性				今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止				※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 県森林協会等の関係機関との連携を図り、効率的な事務の遂行を図る。			
コストの方向性							
→ 維持							
成果の方向性							
→ 維持							

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月09日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	337	都市緑化推進事業							
	この事務事業 の位置		政策	自然環境を守り未来へつなぐまち								
			施策	緑を守り育て、まちを美しくしよう								
			基本事業	緑のまちづくり								
	主管課名		公園緑地課			課長名	石川 重之					
	この事務事業の開始時期		平成24(2012)年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		なし									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	愛知県が施行する「あいち森と緑づくり都市緑化推進事業費補助」を活用した都市緑化を推進する。また、県費対象外の小規模緑化事業についても市単独費で補助する。 「SDGsの取り組み：15、17」					都市の温暖化の緩和、景観の向上また、火災時の類焼防止のため民有地における緑化活動に対して補助し高規格な緑を整備する。						
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		①住民参加緑づくり事業 1件 ②緑の街並み推進事業 3件									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	都市の緑化がもとめられている。				名称		単位					
					① 補助金の交付件数		件					
					②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
①市民					名称		単位					
					① 人口		人					
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
本事業を活用して、道路から見える公共用地以外の土地等の緑化を図る					名称		単位					
					① 補助金交付件数/補助金交付申請件数		%					
					②							
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
緑豊かな街並景観をつくる					名称		単位					
					① 緑化された面積		㎡					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の活動指標		① 件	2	1	4	1	1	1	1			
		②										
(2)の対象指標		① 人	61,375	61,375	61,380	61,380	61,380	61,380	61,380			
		②										
(3)の成果指標		① %	100	100	100	100	100	100	100			
		②										
(4)の結果の成果指標		① ㎡	86	100	369	100	100	100	100			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	08	項	04	目	01
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	817	6,500	2,418	4,000	3,800	3,800	3,800			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	817	6,000	2,418	3,500	3,500	3,500	3,500			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	500	0	500	300	300	300			
人件費B		千円	413.3	413.3	415.3	415.3	415.3	415.3	415.3			
正職員従事時間×人数		時間×人	38×3	38×3	38×3	38×3	38×3	38×3	38×3			
正職員以外の人件費		千円	12	12	14	14	14	14	14			
その他の費用C		千円	20	20	22	22	22	22	22			
トータルコストA+B+C		千円	1,250.3	6,933.3	2,855.3	4,437.3	4,237.3	4,237.3	4,237.3			
単位あたりコスト		① 千円/人	0	0.1	0	0.1	0.1	0.1	0.1			
(トータルコスト/ (2) の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名		No.	337 都市緑化推進事業			
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	住宅地の緑化を推進するため。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	住宅地の緑化を推進するため。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	住宅地の緑化を推進するため。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	事業のPRを行ってはいるが、企業や個人からの申請事業であり、成果をこれ以上向上することは難しい。		
		目的達成状況	内 容	住宅地の緑化を推進している。		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 県費対象外の小規模緑化事業についても市単独費で補助する。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	事務の効率性を鑑みると、統合は適さない。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容	事業内容を鑑みると、削減は難しい。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☐ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☒ 受益者がいない	内 容	直接的な受益者はなし	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	補助金の件数が少ない。		対応策
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	補助金交付		変 更 追 加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 都市緑化の推進を図るため、今後も事業を継続していく。			
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月17日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	339	都市公園整備事業							
	この事務事業 の位置		政策	自然環境を守り未来へつなぐまち								
			施策	緑を守り育て、まちを美しくしよう								
			基本事業	緑のまちづくり								
	主管課名		公園緑地課			課長名	石川 重之					
	この事務事業の開始時期		昭和45(1970)年			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		都市公園法									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	良好で快適な都市環境を創造するために、地域の実情に応じた緑豊かな公園施設等を整備する。 「SDGsの取り組み：3，15」					住民の憩いの場や健康づくりの場として整備を行うために、本事業は必要である。 【三好公園整備】 三好公園の南部エリアの整備及び北部エリアの用地取得 【福谷公園整備】 福谷公園の用地取得の推進						
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		①三好公園整備事業用地買収及び三好公園整備工事、②福谷公園用地買戻し、福谷公園不動産鑑定業務委託及び補償調査業務委託、③保田ヶ池公園整備工事（園路広場整備等）、④総合体育館大規模改修工事（建築、機械、電気）、⑤中島4号公園整備工事等を行った。									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	公園に対する住民の考え方、利用の方法が多様化してきている。				名称		単位					
					① 都市計画決定公園面積		ha					
					②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
①住民					名称		単位					
					① 人口		人					
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
①公園、緑地を快適にかつ安全な空間にする。					名称		単位					
					① 都市公園、都市緑地供用面積		ha					
					②							
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
①計画的に公園緑地の整備を進める。					名称		単位					
					① 市民1人当りの公園緑地供用面積		m ² /人					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の活動指標		① ha	150.58	150.58	150.58	150.58	150.58	150.58	150.58			
		②										
(2)の対象指標		① 人	61,375	61,375	61,380	61,380	61,380	61,380	61,380			
		②										
(3)の成果指標		① ha	100.81	100.81	101.34	101.34	101.34	101.34	101.34			
		②										
(4)の結果の成果指標		① m ² /人	16.43	16.43	16.51	16.51	16.51	16.51	16.51			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	08	項	04	目	05
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	623,975	620,469	671,475	171,325	200,973	179,312	294,796			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	17,000	40,000	40,000	35,000	35,000	22,800	15,000			
	県支出金	千円	5,500	13,300	13,300	8,600	20,000	15,300	17,100			
	地方債	千円	130,600	36,000	36,000	31,500	31,500	41,000	13,500			
	その他	千円	150,619	6,060	6,045	0	0	0	0			
一般財源		千円	320,256	525,109	576,130	96,225	114,473	100,212	249,196			
人件費B		千円	5,374.4	5,374.4	5,813.9	5,996.9	5,996.9	5,996.9	5,996.9			
正職員従事時間×人数		時間×人	380×4	380×4	411×4	424×4	424×4	424×4	424×4			
正職員以外の人件費		千円	24	24	27	27	27	27	27			
その他の費用C		千円	424	424	344	344	344	344	344			
トータルコストA+B+C		千円	629,773.4	626,267.4	677,632.9	177,665.9	207,313.9	185,652.9	301,136.9			
単位あたりコスト		① 千円/人	10.3	10.2	11	2.9	3.4	3	4.9			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名		No.	339	都市公園整備事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	快適かつ安全な緑地空間の整備推進を図るため。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	快適かつ安全な緑地空間の整備推進を図るため。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	快適かつ安全な緑地空間の整備推進を図るため。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	成果の向上は依存財源（国、県の補助）の確保によるところが大きく、今後も補助を活用して事業を進めたい。		
		目的達成状況	内 容	快適かつ安全な緑地空間の整備推進を図っている。		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 三好公園整備事業用地買収を実施した。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	事務の効率性を鑑みると、統合は適さない。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容	事業内容を鑑みると、削減は難しい。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☐ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☒ 受益者がいない	内 容	直接的な受益者はなし	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	未整備の公園の早期整備		対応策
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	公園整備工事、大規模改修工事		変 更 ・ 追 加	公園拡張
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 整備に際し、出来るだけ現況の地形や樹木を生かした工法を採用する。 リサイクル材の活用や、耐用年数の長い資材を使用する。 整備後の管理が容易かつ維持管理費を抑えらるゝことができる整備をする。			
コストの方向性			↑ 増加			
成果の方向性			↑ 増加			

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月09日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	340	公園維持管理事業							
	この事務事業 の位置		政策	自然環境を守り未来へつなぐまち								
			施策	緑を守り育て、まちを美しくしよう								
			基本事業	緑のまちづくり								
	主管課名		公園緑地課			課長名	石川 重之					
	この事務事業の開始時期		昭和45(1970)年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		都市公園法									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	公園緑地施設の適正な維持を行い、公園利用者の安全を確保する。また、公園緑地内の樹木の適正な維持管理を行い、都市景観の向上及び緑豊かな自然環境の保全を図る。 「SDGsの取り組み：3，15」					公園緑地の適正な維持維持管理を行い、安全で快適な公園緑地としての景観保全に努める。						
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等					①公園緑地の捕植 ②公園・緑地施設の緊急修繕 ③公園緑地施設の遊具点検業務 ④三好・保田ヶ池公園樹木管理業務 ⑤小坂公園他18管理業務 ⑥大沢公園他23維持管理業務委託 ⑦三好丘地区公園緑地管理業務 ⑧境川緑地管理業務 ⑨緑地・緑道管理業務 ⑩境川三好池花壇管理業務 ⑪公園樹木管理業務 ⑫三好池敷周辺管理業務 ⑬ポケットパーク管理業務 ⑭みどりのこみち管理業務 等を行った。						
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	少子高齢化による公園利用者の変化及び公園に対する要望が多様化してきている。				名称					単位		
					① 都市公園供用済面積				ha			
					② 遊具点検回数				回			
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 都市公園、都市緑地					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
名称					単位							
					① 都市公園、都市緑地数				箇所			
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 適正な維持管理を行い、安全な公園施設を公園利用者に提供する					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
名称					単位							
					① 都市公園施設修繕件数				件			
					② 都市公園施設における事故件数				件			
結果(上位基本事業の意図) 安全に利用できるよう公園緑地を管理する					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
名称					単位							
					① 公園緑地における維持管理面積				ha			
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標		① ha	100.81	100.81	101.34	101.34	101.34	101.34	101.34			
		② 回	12	12	12	12	12	12	12			
(2)の 対象指標		① 箇所	95	95	96	96	96	96	96			
		②										
(3)の 成果指標		① 件	64	64	61	61	61	61	61			
		② 件	0	0	0	0	0	0	0			
(4)の結果の 成果指標		① ha	100.81	100.81	101.34	101.34	101.34	101.34	101.34			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	08	項	04	目	06
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	275,619	321,810	280,361	347,393	347,549	365,656	362,378			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	707	702	863	1,256	1,590	1,590	1,590			
	一般財源	千円	274,912	321,108	279,498	346,137	345,959	364,066	360,788			
人件費B		千円	21,673.6	22,218	24,567	24,919	24,919	24,919	24,919			
正職員従事時間×人数		時間×人	670×4	700×4	775×4	800×4	800×4	800×4	800×4			
正職員以外の人件費		千円	12,240	12,362	13,655	13,655	13,655	13,655	13,655			
その他の費用C		千円	363	384	715	715	715	715	715			
トータルコストA+B+C		千円	297,655.6	344,412	305,643	373,027	373,183	391,290	388,012			
単位あたりコスト		① 千円/箇所	3,133.2	3,625.4	3,183.8	3,885.7	3,887.3	4,075.9	4,041.8			
(トータルコスト/ (2) の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名		No.	340	公園維持管理事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	公園緑地施設において、適正な維持管理を行い、安全かつ快適な公園施設を提供するため。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	公園緑地施設において、適正な維持管理を行い、安全かつ快適な公園施設を提供するため。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	公園緑地施設において、適正な維持管理を行い、安全かつ快適な公園施設を提供するため。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	住民参加による管理により成果向上の余地はある。		
		目的達成状況	内 容	公園緑地施設において、適正な維持管理を行い、安全かつ快適な公園施設を提供している。		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容	☒ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 公園・緑地施設の緊急修繕等実施		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	住民参加による公園管理を検討する。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容	事業内容を鑑みると削減は難しい。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☐ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☒ 受益者がいない	内 容	直接的な受益者はなし	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	施設の老朽化		計画的な修理修繕
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	捕植、緊急修繕、遊具点検、樹木管理、施設管理、照明LED化、三好公園樹木対策工事		変更・追加 保田ヶ池公園防犯カメラ設置工事	
今後の事業・コスト・成果の方向性		今後の事業の方向性、改革・改善案				
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止		※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ・メンテナンスが比較的かからない施設への更新や、地域住民と一体となり協働による公園管理ができないか検討する。 ・樹木管理について、防犯面、景観に配慮し、低木の樹高（GL+75m）の管理を進める。 ・照明灯のLED化を進めることにより電気使用料の低減に努める。 ・人工芝を利用した遊具の長寿命化、防草対策を進める。 ・剪定枝等をチップ化、再利用し、防草対策・粉塵対策・ゴミの減量化等を進める。				
コストの方向性		→ 維持				
成果の方向性		→ 維持				